

第41回全国高等学校総合文化祭において講演しました（2017/8/3）

テーマ：全国高等学校総合文化祭

場所：石巻市南浜町，女川町まちなか交流館

2017年8月3日(木)に、宮城県石巻市および女川町にて、第41回全国高等学校総合文化祭（みやぎ総文祭）自然科学部門の地学フィールドワークが開催され、当研究所の佐藤翔輔助教（情報管理・社会連携部門）と林晃大助手（寄附研究部門）が講演を行いました。全国高等学校総合文化祭は、芸術文化活動に取り組む全国の高校生が集い、日頃の活動の成果を発表し、交流を深める「高校生最大の芸術文化の祭典」とされ、自然科学部門は自然科学系部活動の研究発表会をメインに記念講演・巡検研修・生徒交流会が行われました。今回の講演は、石巻市・女川町における震災からの復興状況を学ぶ巡検研修にて、当研究所の教員等が復興状況や当時の被害について解説し、参加した高校生により深く理解してもらうために開かれたものとなります。

佐藤翔輔助教は、石巻（南浜）－女川間の車中にて災害科学研究と実務現場との関わりに関する講話を行いました。林晃大助手は、東日本大震災で発生した地震・津波被害の概要、当研究所で実施されている実践的な防災研究の事例を紹介しました。地学フィールドワークには、高校生および引率の教員合わせて140名余りが参加しました。



講演の様子（林晃大助手）



車中での講演（佐藤翔輔助教）

文責：林晃大（寄附研究部門），佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）